



一般社団法人日本フードサービス協会

JFニュースレター

2020. 1. 31

新型コロナウイルスとマスクの効果について No.3

一般社団法人日本フードサービス協会 会長 高岡慎一郎
安全安心委員会 委員長/副会長 小林 均

新型コロナウイルス関連肺炎（新型肺炎）の感染拡大に伴い、予防対策としてマスクの有効性についてのお問い合わせが増えています。

厚生労働省新型インフルエンザ専門家会議（平成 20 年 当時）は、「症状のある人が、咳・くしゃみによる飛沫の飛散を防ぐために不織布（ふしょくふ）製マスクを積極的に着用することが推奨される（咳エチケット）」としており、不織布製マスクについて、以下の通りとしております。

- (1) 咳・くしゃみなどの症状のある人が使用する場合、咳・くしゃみなどの症状のある人は、周囲の人に感染を拡大する可能性があるため、可能な限り外出すべきではない。また、やむを得ず外出する際には、咳・くしゃみによる飛沫の飛散を防ぐために不織布製マスクを積極的に着用することが推奨される。これは咳エチケットの一部である。
- (2) 健康な人が不織布製マスクを使用する場合、マスクを着用することにより、机、ドアノブ、スイッチなどに付着したウイルスが手を介して口や鼻に直接触れることを防ぐことから、ある程度は接触感染を減らすことが期待される。また、環境中のウイルスを含んだ飛沫は不織布製マスクのフィルターにある程度は捕捉される。しかしながら、感染していない健康な人が、不織布製マスクを着用することで飛沫を完全に吸い込まないようにすることは出来ない。

■ 参考情報

- 「新型インフルエンザ流行時の日常生活におけるマスク使用の考え方」
新型インフルエンザ専門家会議（平成 20 年 11 月 20 日）
<https://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/11/dl/s1120-8l.pdf>
- 咳エチケットとは（厚生労働省）
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187997.html>

※ 本ニュースレターは、情報共有を図るため、JF 会員にお送りしています。

この件については、JF と食の安全・安心財団が連携して情報の収集に努めています。

お問い合わせは JF 事務局：田村（03-5403-1060）、財団事務局：中村（03-5403-1064）にお願いします。

新型コロナウイルスに関する情報は、財団ホームページにも掲載しています。

<http://anan-zaidan.or.jp/>